

令和元年度タウンミーティング会議録

期 日	令和元年7月3日(水) 19:00~20:30
会 場	大洗町漁村センター 研修室
対 象 者	産業関係団体 (大洗観光協会, 観光ボランティアほのぼの, 大洗町商工会, 大洗町漁業協同組合, 大洗水産物仲買人協同組合, 大洗水産加工業協同組合, 大洗町漁業研究会, 大洗沼漁業協同組合, 大洗町農業委員会, 大洗町水田農業担い手組合, 大洗町認定農業者協議会, 大洗町農地利用最適化推進委員, JA水戸大洗野菜生産連合会, 大洗町土地改良区, 大洗町指定給水装置工事事業者組合, 大洗町排水設備指定工事店組合, 大洗飲食店組合, 大洗旅館組合, 大洗民宿組合, 大洗建設工業会, 大洗町建設業協議会, りんてつ応援団)
町 執 行 部	町長, 町長公室長, まちづくり推進課長, 都市建設課長, 生涯学習課国体推進室長, 生涯学習課長, 教育次長兼学校教育課長, こども課長, 商工観光課長, 上下水道課長, 農林水産課長, 総務課長
出 席 者	33名

町民： ・掘割の排水の件について、白い塊が浮遊していて、その都度取り除いている。何年経っても改善されない。水産加工業者も浄化をして水を流してもらえれば。

町長： ・大きな課題である。下水道の整備も進めているが、できるだけ早く前処理施設を整えて下水道に繋いでいただくようお願いしているところ。確かに掘割の排水は油の塊が真っ白になって浮いている状態である。担当課長を通じて引き続き依頼しながら、取組を強めていきたい。
・漁港でも同様の報告があり、その都度追跡調査をして、前処理施設を整備して下水道に繋げるよう指導を強めているところである。

町民： ・プレミアム付き商品券については、低所得者を優遇するためとのことだが、プレミアム付き商品券というと、これまでは生活に余裕のある方が購入し、利益を得ているイメージを受けている。何か他の方法はないのか。
・町の循環バスの運行について、観光客より1時間に1本では不便という声をよく耳にする。特に11時半の便の次は13時半までない。大洗は足が不便と言われることもあり、30分に1本のペースで運行することはできないのか。

総務課長：

- ・今回のプレミアム付き商品券は、消費税増税に伴う経済対策の一環として位置付けられており、商品券を購入できる方も住民税非課税世帯及び子育て世代に限られているように、これまで町が発行してきた商品券とは意味合いが異なっている。

(※担当課は福祉課ですが、福祉課長が不在のため総務課長が代わって回答)

福祉課より補足：

- ・これまでに販売されたプレミアム付商品券は、販売日を短期間に限定し「一人につき数万円の商品券を複数セット購入可」のように設定され、生活に余裕のある方向けのイメージが付いていると思われるが、今回のプレミアム付商品券については、国の施策により実施されるもので、「一人につき上限2万円の商品券で、4千円ずつ5回まで分割購入可」、販売期間も5カ月超とされ、低所得者および子育て世帯の方々に配慮された販売設定になっている。

まちづくり推進課長：

- ・循環バスについては海遊号・なっちゃん号の2台で運行している。限られた車両・運転手で様々な要望を踏まえて運行しており、組める時間が限られている。ダイヤ改正までできるかについては難しいが、検討していきたい。

町民： ・サンビーチはユニバーサルビーチとしてバリアフリーになっているが、大洗駅については、エスカレーターやエレベーターがない。県に聞いたところ、2千、3千人の利用客がいなければ設置できないとのことだが、大洗駅に今後設置することは不可能なのか。サンビーチ同様に大洗駅も「やさしい」駅にできないか。

町長： ・鹿島臨海鉄道は高架で運行しているが、やはりエレベーターやエスカレーターを設置するには3千人以上の乗降客が基本であるとのこと。ただし、これから高齢化も進み、インバウンド客も利用するようになるだろう。スロープについても検討はしたが、大きなスーツケースを持ったインバウンド客にとっては、危険であると断念した。この件に関しては、これまでも幾度と無く国に対して要望はしてきたが、なかなか動きが見えてこない。国でも高齢化対策やインバウンドには力を入れているので、直接鉄道局へ出向いて要望しようと考えている。
また、現在行っている駅前の再整備と併せて、駅舎も環境を良く

しようとして鹿島臨海鉄道と協議しているところであり、前進できるよう努力していきたく。

- 町民：
- ・古墳について、案内板は新しくしていただいて、ボランティアとしても案内しやすい環境になったが、駅から古墳へ案内する際等に、看板がない。
 - ・併せて、役場への看板もない。

生涯学習課長：

- ・現在磯浜古墳群について、国指定史跡を目指して事業を進めており、国指定となれば今後多くの観光客が予想されます。これまでも同様の要望をいただいていることから、国指定化の動きと併せて看板設置の検討をしていきたい。

都市建設課長：

- ・現在、駅前広場再整備と併せて既存の看板やモニュメントについても老朽化した看板を新設する等、整理をしているところであり、その一環として役場への案内・看板についても検討していきたい。

- 町民：
- ・資料に定住促進奨励金との記載があるが、アパートを借りている方についても、3年間や5年間等の補助をいただけないか。

まちづくり推進課長：

- ・アパートの家賃補助については、補助を受けた方がその後大洗町に定住するか定かではないところもあり、現在は、確実に定住に繋がると思われる住宅取得者だけを対象に、奨励金をお支払いする形で取り組んでいることをご理解いただきたい。

- 町民：
- ・県外から働きに来ている方は、大洗町に住民税を払っているということも考慮してもらいたい。家賃補助があることで定住者の増加に繋がれば町にとっても良いことではないか。

まちづくり推進課長：

- ・次年度以降の予算編成や新規事業展開のひとつとして検討させていただく。

- 町長：
- ・移住して大洗で活躍している方がどれほどいるのか調査をしていかなければならないと考えているところである。大洗町に移住し、家賃補助をもらいながら生活をする中で、定住に繋がるということは大変意義のあることだと考えているので、研究していきたい。

町民： ・ 空き店舗の補助金について、110万円という予算は少ない気がする。1件どれほどの金額なのか。また、リフォーム補助金同様に本補助金も大洗町内の事業所の活用をお願いしたい。

商工観光課長：

- ・ 空き店舗補助金については、増えている空き店舗を利活用しているという趣旨のもと取り組んでいるところであるが、現状としてはニーズがなく、予算も1件分のみである。そのため、店舗改装費や家賃補助で1件110万円ということである。もちろんニーズがあれば、予算も確保して取り組んでいく。

町民： ・ 既存商店街に関して、現在多くのガルパンファンの方にお越しいただいているが、歩道が狭く電柱もあり、イベント時には歩行者が車道にはみ出してしまうこともある。今後商店街の沿道整備について何か考えはあるか。
 ・ 祝町小学校の跡地利用について、興味を示している業者がいるのか。

都市建設課長：

- ・ 商店街に限らず、道路を拡幅するとなると、莫大な費用もかかり、店舗や住宅に移動してもらう必要も出てくる。現在、通学路を優先的にグリーンベルトの整備を進めているが、歩道の無い道路についてはグリーンベルトの設置も含め、歩行者が安心して歩けるような取り組みを進めていきたい。

まちづくり推進課長：

- ・ 小学校跡地利活用については、現在募集を行っているところだが、何件か問合せもあり、興味を示している事業者がいることは事実である。現段階では正式な応募書類の提出はないが、今後応募があるだろうと期待している。

町長： ・ 商店街については、中心市街地の整備事業の制度があり、商店街の方向性についての取り組みはある。以前、商業近代化計画を商工会が中心となって作成して市街地の方向性を描いたこともあったが、当時は難しかった。今後、空き店舗の活用と併せて沿道環境の整備や中心市街地のあり方を協議して詰めていけば、ある程度の補助を受けて市街地の整備ができると考えている。ただし、それぞれの店舗がその気になって取り組んでいただく必要があるため、各商店会でまとめていただければ、そのような環境を作る

ことは可能である。

沿道の整備は家屋や店舗の移動を伴うため、大変な事業である。水戸の下市のように一方通行にするというやり方もあると思うので、商店会の皆さんと話し合いながら進めていきたい。

いずれにしても、商店街については大洗町の課題のひとつでもあるので、良い方向に変えていく努力はしなければならないと考えている。

都市建設課長：

- ・ 京都で実施された事例として、街なかの道路において4車線あった車道を中央の2車線だけにして歩道を広げるなど、車ではなく歩行者を優先に考える街に戻そうといった取組が全国的な流れになっている。それも最初から大規模な工事を始めたわけではなく、車道を一部歩道として使用する日を設けて、沿道の商店や住民、利用者の声を聞くなどの社会実験を繰り返し行いながら進めていったとのこと。大洗町でも、例えば商店街の道路を一時的に一方通行にして、その分歩行者が歩く空間を広げてみるなどのやり方ができると思うので、商店街の方々と意見交換をしながら取り組んでいきたい。

町民： ・ 今年のゴールデンウィークでは、サンビーチの駐車場を有料にし、収入もあったと思うが、今後町営駐車場等も有料化して利用者負担させるといった考えはあるか。

町長： ・ サンビーチについてはゴールデンウィークに有料化させていただいたところだが、年間通じて有料化するという提案もあった。しかし、その際は県からの指定管理として管理については町が全て責任を負うようになり、そのための条例等も整備しなければならない。今後ひたちなか市とのリゾート構想の中で、サンビーチエリアをどうしていくか定まってくれば、有料化の問題も明確になってくると思う。同時に、サンビーチが有料化となると、町営第一駐車場が海岸利用客で埋まってしまうという問題もある。今後、町営第一駐車場についても有料とすることで、サンビーチ駐車場同様に利用者にはご負担いただこうと考えている。その際、商店等で商品を購入したら駐車場料金が割引になる等の仕組みもできるのではないかと。

また、駅の駐車場についても、以前より一人の人が朝から一日中駐車して占有しているという問題もあったことから、有料化することで、短時間でまた次の方が利用できるような環境にしていく。

20 : 30閉会